様式２　管理運営状況評価書
【対象年度：平成24年度】　（　①歴史・文化施設　）

１　施設概要・利用情報　（単位：人、％、円、日）

番号	8	施設名	掛川市竹の丸	担当課名	地域支援課

区分		内容　・　説明	
１　施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市竹の丸条例	
	(2)施設設置目的	市指定有形文化財竹の丸を保存及び活用するとともに、竹の丸の歴史文化的価値を顕彰し、もって市民文化の発展に寄与するため。	
	(3)施設が有する設備、機能の概要	敷地面積：5,520㎡ 主屋(木造平屋建て・457.29㎡)、離れ（木造2階建て・230.52㎡）、番屋（木造平屋建て・34.78㎡）、西土蔵（木造2階建て・61.98㎡）、北土蔵（木造2階建て・99.80㎡）、米倉（木造平屋建て・39.75㎡）　※面積は延床面積。 貸室…【主屋】茶の間（８畳）・ひろま（12畳）・台所（20.5畳）・ギャラリー（39畳）、【離れ】座敷（15畳）・家人の間（7.5畳）	
	(4)施設建設年度	主屋：明治36（1903）年	
	(5)耐震性能の有無	有	
	(6)将来予想される改修経費（想定年度と費用見込み）	南面土塀の修繕（H26年、7,665千円）	
		番屋屋根の修繕（H27年、5,091千円）	
		庭園園路の修繕（H28年、1,500千円）	
	(7)指定管理者名	特定非営利活動法人スローライフ掛川	
	(8)指定期間	平成２１年６月１日　から　平成２６年３月３１日　まで	
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営	
	(10)自主事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況を３－(3)欄に記入のこと。	
	(11)指定事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況を３－(3)欄に記入のこと。	
	(12)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり（地自法第244条の2第7項による提出義務）　☐ 提出なし	
	(13)利用者満足度調査等実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合、（直近の実施年度　平成２４年度）	

区分				H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数			12,473	10,798	11,410		
	（施設・設備ごと）	施設入場者数		4,943	4,162	3,905		
		貸室利用者数（茶の間）		1,174	304	257		
		貸室利用者数（ひろま）		566	454	367		
		貸室利用者数（台所）		421	519	321		
		貸室利用者数（ギャラリー）		3,301	4,130	4,301		
		貸室利用者数（座敷）		1,627	1,029	2,008		
		貸室利用者数（家人の間）		441	200	251		
	(2)稼働率（利用率）							↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・設備ごと）	貸室利用者数（茶の間）	A平日昼間			6.9%		貸室日数(16日)／開館日数(233日)
			B平日夜間			4.3%		貸室日数(10日)／開館日数(233日)
			C土日祝昼間			13.2%		貸室日数(15日)／開館日数(114日)
			D土日祝夜間			7.0%		貸室日数(8日)／開館日数(114日)
		貸室利用者数（ひろま）	A平日昼間			4.3%		貸室日数(10日)／開館日数(233日)
			B平日夜間			4.3%		貸室日数(10日)／開館日数(233日)
			C土日祝昼間			13.2%		貸室日数(15日)／開館日数(114日)
			D土日祝夜間			7.0%		貸室日数(8日)／開館日数(114日)
		貸室利用者数（台所）	A平日昼間			2.1%		貸室日数(5日)／開館日数(233日)
			B平日夜間			2.1%		貸室日数(5日)／開館日数(233日)
			C土日祝昼間			8.8%		貸室日数(10日)／開館日数(114日)
			D土日祝夜間			3.5%		貸室日数(4日)／開館日数(114日)

2 利用状況	（施設・設備ごと）	貸室利用者数（ギャラリー）	A平日昼間			40.3%		貸室日数（94日）／開館日数（233日）
			B平日夜間			21.5%		貸室日数（50日）／開館日数（233日）
			C土日祝昼間			68.4%		貸室日数（78日）／開館日数（114日）
			D土日祝夜間			8.8%		貸室日数（10日）／開館日数（114日）
		貸室利用者数（座敷）	A平日昼間			28.8%		貸室日数(67日）／開館日数（233日）
			B平日夜間			15.0%		貸室日数（35日）／開館日数（233日）
			C土日祝昼間			50.0%		貸室日数（57日）／開館日数（114日）
			D土日祝夜間			7.0%		貸室日数（８日）／開館日数（114日）
		貸室利用者数（家人の間）	A平日昼間			7.3%		貸室日数（17日）／開館日数（233日）
			B平日夜間			0.9%		貸室日数（２日）／開館日数（233日）
			C土日祝昼間			12.3%		貸室日数(14日）／開館日数（114日）
			D土日祝夜間			0.9%		貸室日数（１日）／開館日数（114日）

区分			H22実績	H23実績	H24実績	H25当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		881	1,017	936		
	(3)運営日数		347	348	347	347	
	(4)運営人員	①正規職員	3.0	3.0	3.0	3.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	5.0	5.0	5.0	5.0	

２ 施設管理に係るコスト情報

（単位：円、%）

区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
	①人件費	9,245,544	9,315,296	9,321,926	9,500,000	
	②印刷費	157,675	88,200	135,705	30,000	
	③通信費	53,085	48,865	55,576	58,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	234,347	373,236	428,563	211,000	
	⑤借上料	441,000	330,750	106,242	110,520	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	854,485	827,101	635,275	567,332	
	計	10,986,136	10,983,448	10,683,287	10,476,852	
	対前年度増減率		△ 0.0	△ 2.7	△ 1.9	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	2,030,598	1,740,438	1,777,398	1,777,398	
	浄化槽管理委託	143,850	143,850	143,850	143,850	
	防犯警備委託	62,748	62,748	62,748	62,748	
	清掃委託	896,400	697,200	714,000	714,000	
	庭園清掃委託	927,600	836,640	856,800	856,800	
区分		H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	②修繕費	304,549	343,376	257,332	200,000	
	③光熱水費	440,802	425,006	496,298	546,000	
	④燃料費					
	⑤清掃費	117,165	127,440	114,935	60,000	
	⑥保守点検費	120,750	120,750	120,750	120,750	
	⑦その他(施設消耗品)					
	計	3,013,864	2,757,010	2,766,713	2,704,148	
	対前年度増減率		△ 8.5	0.4	△ 2.3	

(3)トータルコスト（施設管理費　合計）（A）＋（B）	14,000,000	13,740,458	13,450,000	13,181,000	
(4)合計のうち運営コストの割合	78.5	79.9	79.4	79.5	
(5)施設の収入　※1）下記3に入力する	873,990	887,650	1,010,050		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	8.0	8.1	9.5		

３　収支差額の状況　　注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設　（単位：円）

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設使用料収入	873,990	887,650	1,010,050	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	14,000,000	13,740,458	13,450,000	
収支差額　a）－b）	△ 13,126,010	△ 12,852,808	△ 12,439,950	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　（単位：円）

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 施設利用料金収入	0	0	0	※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額（　a－トータルコスト）	0	0	0	
c)　bに対する市の支出額（指定管理料）	0	0	0	

(3指定事業及び)自主事業の状況　（単位：円）

区分	H22決算額	H23決算額	H24決算額	備考
a) 指定事業の収入	155,500	203,000	214,400	受講料、チケット売り上げ等
b) 指定事業の支出	443,673	431,964	515,780	講師料、謝礼等
収支差額　a）－b）	△ 288,173	△ 228,964	△ 301,380	
c) 自主事業の収入	298,500	382,933	196,500	チケット売り上げ
d) 自主事業の支出	189,900	437,776	31,936	材料費
収支差額　c）－d）	108,600	△ 54,843	164,564	

４　施設管理所管課（市担当者）としての見解と改善提案

検討項目	現状分析と課題	左記課題を解決するための改善提案（いつから、誰が、何を、どうする）
(1)　施設の収支差額の改善について 【行革推進係から】 いくら公の施設とはいえ、毎年巨額の収支差額を生じ、不足分を市民の税金で賄うことが果たして適正な経営といえるのでしょうか？ 知恵と工夫により、少しでも収支バランスを改善することを念頭に、類似施設の統廃合も含めて、施設運営のあり方を考えましょう。	効率的な運営が意識されていて、トータルコストは年々減少している。しかし、支出と収入の格差は依然大きく隔たっている。 支出の約7割を占める人件費を圧縮するか、収入増を図る必要がある。	人件費を圧縮するためには、平成21年度の開館以来実施している入館料（100円）の徴収を廃止して、それに係る人件費を削減する方法がある。 収入増を図るためには、掛川城と竹の丸の共通券の発行、竹の丸への案内サインを掛川城内に設置する等により入館料の増加を図る方法、館内で飲食を行うことにより使用料の増加を図る方法がある。 人件費を圧縮して入館料・使用料の増加を図ることが最良であるが、来年度の新指定管理者の指定を契機に、どのような手法を採るのか決定する。
(2)　利用者数の増加について 【行革推進係から】 一部の人しか使わない割りに、毎年たくさんの指定管理料が支払われていませんか？ より多くの利用者を獲得するために、市としてどんな事業展開を考えますか？	竹の丸は、有料の入館と貸館を行っているが、入館者数は年々減少している。掛川城の入館者数は、22年度から年々増加しているが、掛川城の入館者が竹の丸に流れてこない。 一方、貸館は増加傾向にあり、24年度は22年度に比べ、件数で1.4倍、使用料は1.45倍に伸びている。施設の環境・雰囲気が好評で、リピーターが多く、新たな顧客も生まれている。	掛川城と竹の丸の共通券の発行、竹の丸への案内サインを掛川城内に設置する等により、掛川城の入館者を竹の丸に導くことができると考える。 来年度の新指定管理者の指定を契機に、これらを導入し、入館者の増加を図る。
(3)　利用者の満足度向上について 【行革推進係から】 市の政策目的の達成に見合う事業が行われているでしょうか？ 毎年決まった事業内容やイベント等でなく、利用者の関心を引きつけ、魅力ある施設運営をめざしましょう。	竹の丸は、有料の入館と貸館を行っているが、入館者数は年々減少している。 一方、貸館は増加傾向にあり、24年度は22年度に比べ、件数で1.4倍、使用料は1.45倍に伸びている。施設の環境・雰囲気が好評で、リピーターが多く、新たな顧客も生まれている。	施設の設置目的のうちの「市指定有形文化財竹の丸を保存及び活用するとともに、竹の丸の歴史文化的価値を顕彰」することは達成されているが、竹の丸の情報が十分に発信されていないため、「市民文化の発展に寄与」しているとは言い難い状況にある。 竹の丸の情報を全国的に発信できる事業を展開し、存在を周知することにより、市民に来訪してもらうことができるので、来年度の新指定管理者の指定を契機に実施を図る。

５　その他自由意見